

新春登山・十津川村武蔵「アンシヨウ山・Ⅲ1099.4m」

下見報告

◇実施日：平成27年12月16日(水) 曇のち晴

◇参加者：沖崎吉信、濱野兼吉、橋本 梓、生熊千満子、
石橋哲郎、石橋隆子。 計6名。

一、登山口迄の距離・時間；新宮から約6.5km・1時間15分。
一、駐車スペースについて；村道詰に6〜7台可能ですが、手前
がかなりの急勾配で雪・凍結具合では武蔵集落に駐車も必要か。
集落から歩くと、集落〜登山口間は、600〜700m位ある。

一、標高差(高度差)約700m。
一、コースタイム

往路；登山口↓65分↓ヤケ峰峠↓40分↓下山路合流点↓

30分↓N056鉄塔↓45分↓アンシヨウ山山頂。

計180分(3時間)。

復路；山頂↓25分↓N056鉄塔↓70分↓登山口。

約10年前の平成18年2月19日に一度登っていて、詳細な記録も残している。又、現地へ行くとかなりの記憶も残っているもんだ。

普段の登山と違って、下見の役を仰せつかっている身としては、進入路は、駐車スペースは、と資料とにらめっこ。

8時40分スタート。この道は武蔵から大野間の生活道で、ヤケ峰峠迄の登りは、はっきりして広いが、人工林のなかの杉の落枝が多く、又石も多く歩きにくい。これに雪が被ってい

たら更に歩きにくいだろう。

前回50分で峠に着いたが1時間と5分を要した、道の所為か年の所為か。

小休止のあと尾根を進み小さなアップダウンを二つ、三つと越え、約40分で帰路の下り道と合流する。

ここから先は、鉄塔の巡視路となっており、歩きやすく道もはっきりしている。

やがてN056鉄塔下に着く。本日一番いや唯一の大展望である。

山頂直下の右の小尾根の取付きでミスしN057鉄塔へ。手前に崩壊箇所があつて、冷汗をかき山頂へ。

山頂の展望がなく人工林の中である。N056鉄塔で昼食と決め、早々に山頂をあとにした。

全体の印象としては、足元が悪くトラバース気味の地点も3〜4箇所あつて、慎重な歩行が要求される。

(記 沖崎)